別紙２（第３第１項（２），第７第１項（２）関係）

【記入例】

令和３年度作付転換営農継続支援事業（機械・施設導入支援事業）

（ソフト支援）

事業計画書（事業実績報告書）

１　事業実施主体の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（名称・代表者氏名） | 〇〇〇〇〇〇　代表〇〇〇〇 | 生年月日（代表者生年月日） | Ｓ・Ｈ　〇〇年　〇月　〇日 |
| 所在地 | 〇〇市〇〇〇〇〇〇 |
| 区分 | ☑　農業者　　　　□　農業法人　　　　□　農業生産組織□　農業団体　　　□　その他（　　　　　　　　　） |
| 農業者・農業生産組織の場合：☑　法人化を見込む。※個人，任意組織は選択が必要条件 | 法人化の予定年月：令和６年１２月 |
| 営農部門 | 水稲，大豆，露地野菜 | 主たる従事者数（構成員数） | ３　人　 |
| 連絡先 | 担当者役職・氏名：代表者本人　〇〇〇〇TEL：0225－12-12〇〇　　　　　　FAX：0225－12-12〇〇E-mail：〇〇〇＠・・・・・・ |

２　事業の目的等

（１）現状及び課題（営農継続に向けて解決すべき課題等）

・当社は，水稲〇ha，大豆〇ha，野菜〇aの作付を行っている。

・〇〇〇生産（主食用米以外（大豆，麦，飼料用米，野菜など））の拡大（，品質向上）が求めらているが，マンパワー不足，適期作業の未実施等が課題となっている。

・地域の担い手不足等により，受託面積が拡大し，作業負担が大きくなっている。

（２）事業の目的（本取組によってもたらされる効果等）

・〇〇〇生産（主食用米以外（大豆，麦，飼料用米，野菜など））の作業時間の短縮と面積拡大を図る。

・適期作業の実施で，品質向上が期待できる。また，規模拡大が可能となる。

・自動操舵システムの導入により，作業者の身体・精神的負担軽減につながる。

３　事業の取組内容

RTK基地局を活用したトラクターの自動操舵システムにより，作業時間の短縮と面積拡大に向けた経営改善を実施する。

４　取組内容ごとの計画（実績）

　　１．自動操舵システム（トラクター後付け）の導入　　　：〇，〇〇〇，〇〇〇円（税抜）

　　２．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　：　　　　　　　　　円（税抜）

　　３．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　：　　　　　　　　　円（税抜）

　　４．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　：　　　　　　　　　円（税抜）

　　※事業費は，消費税を除いた金額を記載する

５　添付書類

（１）取組に係る詳細資料(地図，関係者，スケジュールなど取組に関する詳細な資料)

（２）事業実施主体（組織）の定款の写し又は事業実施主体（個人農業者）の住民票抄本の原本

（３）事業実施主体の直近の決算書（総会資料等）

（４）取組に係る経費の参考見積書・契約書（請求書・領収書）

（５）その他採択要件の確認に必要な書類

　　※R4デジタル田園実装拡大事業の申請者は，その申請書類一式の写しを添付してください。

　但し, R4デジタル田園実装拡大事業の申請内容が,主食用米のみの場合は,転換品目の取組計画が分かる資料を追加すること。（参考様式を参照）

　　※（５）の資料として，「宮城県スマート農業推進ネットワーク入会申込書」と「RTK基地局利用申込書（仮）」を添付すること。